

# 時空の漂泊

(二〇一二年三月一日 第五十三号)

原 恭三

## 現代版 幸福考 (五)

### 「あなたの人生時計は、今、何時？」

今日の日本の平均寿命は、織田信長が

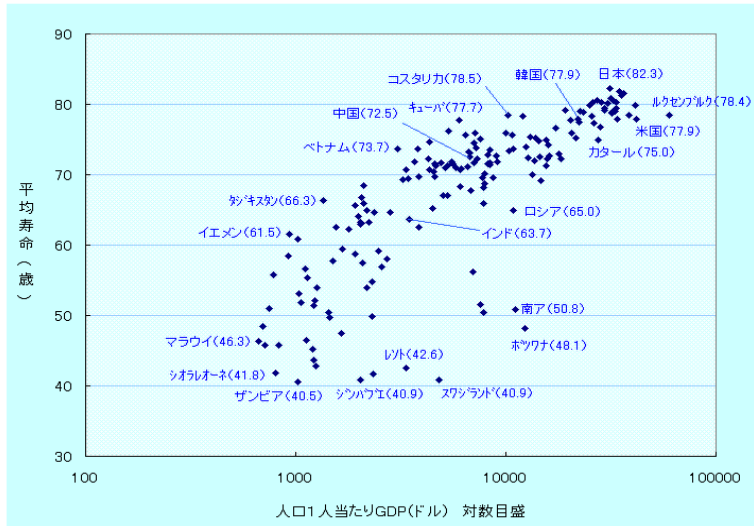
「人間 五十年」と詠んだ時代に比べると、

男性は七十九・五九歳、女性は八十六・四四歳(二〇一〇年)と、世界でもトップクラスとなった。

日本人の平均寿命が五十歳を超えたのは戦後になってからで、それが今では、事故や疾病がなければ八十歳まで生きられるようになった。アフリカ南部のジンバブエ共和国の平均寿命は、男性が四十八歳、女

人の世

世界各国の平均寿命(2005年)



(注)174カ国を図示。平均寿命は男女計、所得水準(人口1人当たりGDP)はPPPベースのドル。  
(資料) UNDP, 人間開発報告書2007/2008

(参考)平均寿命とその世界ランキング

国名	平均寿命(2005年)						人口1人当たりGDP(2005年)	
	男女計		男		女		PPPドル	順位
	歳	順位	歳	順位	歳	順位		
日本	82.3	1	78.7	3	85.7	1	31,267	17
香港	81.9	2	79.1	2	84.9	2	34,833	7
アイスランド	81.5	3	79.9	1	83.1	8	36,510	5
スイス	81.3	4	78.5	4	83.7	4	35,633	6
オーストラリア	80.9	5	78.5	4	83.3	6	31,794	16
スウェーデン	80.5	6	78.3	6	82.7	9	32,525	13
スペイン	80.5	6	77.2	12	83.8	3	27,169	24
カナダ	80.3	8	77.9	8	82.6	10	33,375	10
イタリア	80.3	8	77.2	12	83.2	7	28,529	21
イスラエル	80.3	8	78.1	7	82.3	11	25,864	26
フランス	80.2	11	76.6	19	83.7	4	30,386	18
ノルウェー	79.8	12	77.3	11	82.2	12	41,420	3
ニュージーランド	79.8	12	77.7	9	81.8	15	24,996	28
オーストリア	79.4	14	76.5	21	82.2	12	33,700	9
シンガポール	79.4	14	77.5	10	81.4	20	29,663	19
オランダ	79.2	16	76.9	14	81.4	20	32,684	12
ドイツ	79.1	17	76.2	22	81.8	15	29,461	20
マルタ	79.1	17	76.8	15	81.1	25	19,189	36
英国	79.0	19	76.7	17	81.2	24	33,238	11
キプロス	79.0	19	76.6	19	81.5	18	22,699	30
フィンランド	78.9	21	75.6	28	82.0	14	32,153	14
ギリシア	78.9	21	76.7	17	80.9	28	23,381	29
ペルギー	78.8	23	75.8	25	81.8	15	32,119	15
コスタリカ	78.5	24	76.2	22	80.9	28	10,180	61
アイルランド	78.4	25	76.0	24	80.9	28	38,505	4
米国	77.9	29	75.2	32	80.4	32	41,890	2
韓国	77.9	29	74.3	36	81.5	18	22,029	32
中国	72.5	68	71.0	60	74.3	81	6,757	86

(注)順位は177カ国中。男女計の高い順に25カ国を掲載し、米国、韓国、中国を加えた。  
(資料) UNDP, 人間開発報告書2007/2008

性が四十二歳であることを考えると、長寿をもたらした日本社会に感謝しなければならない。  
では、我々の人生を時計に置き換えると、今、何時になるのであろうか？

健康であれば八十歳まで生きるとすると、睡眠の八時間を差し引いた十六時間で八十歳を割れば、時間当たり五歳となる。六時にオギヤと命を授かると、朝十時は意気盛んな二十歳の学生、昼食時の十二時は働き盛りの三十歳となる。

そして十八時の夕食時は、定年を迎える六十歳、夜二十時の看板テレビ番組が並ぶプライムタイムは七十歳、夜二十二時の就寝時は、八十歳の人生を閉じる時間となる。

もつとも人生の時間の針をどのように考えるかは、人それぞれなのではあるのだが  
.....

先日、大阪で内科医をしている知人が上京し、久しぶりに一緒に夕食を取った。その時、最近、鬱病うつの前兆である不安神経症患者が急増しているという話を聞いた。そして必ずといってよいほど、神経科でなく自分の内科を訪ねてくるとのことだった。

ひと昔前は、定年後の生活は、残された数年の余生をいかにエンジョイして暮らすかというものであった。

原作 サミュエル・ウルフマン

この詩については「新青春の会」というホームページがある。ここには、この詩の各国語訳など、いろいろな紹介されている。 <http://www.sesjyun.jp/index.html>

しかし、平均寿命が大幅に延び、その余生が数年から二十年あまりにもなってしまう、その結果、その長い老後をいかに過ごしたら良いのかという不安から不安神経症患者が増加しているということだった。

健康には「肉体的なもの」と「精神的なもの」とがある。肉体は三十四〜三十五歳がピークの限界であるが、精神は常時磨いている限り、いくつになっても生きていく限り、発展・向上を続け老化しないと言われる。

そこで、今回は、恥ずかしながら私の好きな詩、日本では「青春」という題で訳されているが、ここで自訳を紹介し、皆様と一緒に輝くべき将来の人生時計を考えたい。

Samuel Ullman 一八四〇〜一九四二年。ユダヤ系ドイツ生まれの米国の実業家。八十歳の記念に自費出版した「八十歳の歳月の高見にて」に収められた詩「青春」(YOUTH)が有名。第二次世界大戦後、雑誌「リーダーズ・ダイジェス

この詩は米国の実業家サミュエル・ウルマンのもので、日本ではマッカーサー元帥の座右の銘として知られるようになった。

## 若や (Youth)

若さとは人生の一時期(肉体)ではありません。

それは、あなたの今の心であり、意志であり、創造であり、感動であり、臆病を超越した勇気です、そして、安易な愛を超えた冒険への挑戦です。

誰も、ただ歳月だけでは老人にはなりません。人は願望を捨てることによりのみ、老人になるのです。歳月は皮膚にしわを刻みますが、しかし、感動の心には、しわを刻むことはできません。心配と不

ト」に掲載され、連合軍司令官マッカーサーが座右の銘として執務室に掲げたところから日本でも知られるようになった。松下幸之助も座右の銘としていたと言われる。

安と自己不信と恐怖と失望、それは長く、その歳月は、あなたの意志を屈指させ、精気ある魂をも敗北に向けます。

七十歳の老人であろうと、十六歳の若者であろうと、その胸中には、いつも熱い愛への芽生えと、天空にきらめく驚異と、その輝きにも似た新鮮な驚きと敬愛があり、そして、憶しない挑戦と子供のように求めてやまない探究心と喜びと人生への勝負があります。

あなたは、あなたがつ正義と同じくらい青年ですか。

(それとも)あなたが抱く疑念と同じくらい老人ですか。

あなたは、あなたがつ自信と同じくらい青年ですか。

(それとも)あなたが抱く恐怖と同じくらい老人ですか。

あなたは、あなたがつ希望と同じくらい青年ですか。

(それとも)あなたが抱く失望と同じ

くらい老人ですか。

この大地から、人類から、宇宙から、美と喝采と勇氣と壮麗と力の息吹を心に感じる限り、あなたは若いのです。

この息吹の糸がすべて切れ落ち、熱意のすべてがペシミズム(悲観主義)の白雪と冷やかな氷で固く閉ざされる時、その時、あなたは一人の老人であり、そして、神はあなたの魂の上に慈悲を与えるでしょう。

原恭三(はら・きょうぞう)

一九五四年生まれ。

ペンシルバニア大学院、筑波大学院修了。霞が関に勤務、Social Innovation、CSR(企業の社会的責任)等に関心。早稲田大学非常勤講師、日経品質文献賞、APIC論文賞等。